

# おおさか AALA

非核・非同盟・平和・友好・連帯

今月の読み物  
◇1-2 面:AALA カフェ第30回記念講演会(速報版)  
◇3 面:沖縄県知事選現地支援報告 ◇4-5 面:玉造  
周辺の戦跡めぐりと平和学習 ◇6-7 面:ジェンダー  
平等学習会から ◇8 面:行事案内、文化欄ほか

〒540-0004 大阪市中央区玉造 1-6-11 黒石ビル3F  
2022年11月1日 No. 597



2022.10.8 玉造周辺の戦跡めぐり 旧真田山陸軍墓地の墓碑群(Eゾーン辺り)  
写真：編集部 記事：4-5ページ

## 速報報告版

ASEANがきりひらく未来は？  
AALAカフェ第30回記念講演会オンライン併用  
田中靖宏日本AALA代表理事の講演

10月23日(日)午後2時から4時30分まで、AALAカフェ第30回記念の大阪AALA講演学習会が、エルおおさかをメイン会場にして開催されました。当日、会場での参加者は17名でした。

コロナの関係もあり、田中靖宏日本AALA代表理事の講演は、ZOOMを使ってオンラインで行いました。今回のオンライン使用は大阪AALA独自開催としては初めての経験で、浜田敏彦さんにはZOOM設定・資料・運営全般にわたってお世話になりましたが、スタッフ一同大変感謝しております。

今号では、開催直後であり速報報告版として講演のおおよその流れについて報告し、次号の12月号で概要版を掲載します。

### ウクライナ危機と世界

講演は、まず「ウクライナ危機と世界」について、ロシアによるウクライナ侵略を国際社会は許さないと、国際社会での4州併合の無効決議に143カ国が賛成したことなどをあげました。



AALA カフェ第30回会場風景

### 東アジアでもウクライナとよく似た状況

つづいて、東アジアでもウクライナと似た状況があるとして、日米両軍による沖縄列島の基地増強、台湾をめぐる緊張、この背景にアメリカのインド太平洋戦略があり、東のNATO化をはかっていることなどを指摘し、日本などを「衛兵」国家として中国を軍事的に抑え込もうとしていることが強調されました。

### 世界秩序をめぐる対立が鮮明

さらに、今「世界秩序をめぐる対立が鮮明」※2ページ1段目につづく



田中靖宏代表理事

※1ページ下段からのつづき  
ぐる対立が鮮明になってい  
る」として、バイデンの戦  
略にみる「民主主義対専制  
主義」という冷戦型の対立  
を受ける形で、欧州やアジ  
アでの例をあげて説明しま  
した。

**ロシアの軍事行動に対して  
AALA地域の対応は**

一方、ロシアの軍事行動  
に対し、対ロシア制裁措置  
を執行している国は、日  
本・アメリカ・EU・イギ  
リス・韓国・台湾など48の  
国と地域ですが、AALA  
地域は、ロシアの軍事行動  
には反対ですが、対ロシア  
制裁措置には参加していま  
せん。

**ASEANは中立守り、即  
時停戦求める**

中でもASEANは中立  
を守り、即時停戦を求めて  
います。そして対話と紛争  
の外交解決を求めています。

**ASEANとは**

ではASEAN(東南ア  
ジア諸国連合)とはどうい



ASEANの紋章

うものか見てみます。

1967年8月8日、タ  
イのバンコクでインドネシ  
ア、マレーシア、フィリピ  
ン、シンガポール、タイの  
5カ国がASEAN宣言  
(バンコク宣言)に署名し設  
立されました。その後、ブ  
ルネイ、ベトナム、ラオス、  
ミャンマー、カンボジアが  
加盟して、現在10カ国で  
す。

**ASEANの特徴**

ASEANの特徴は、加  
盟国が、経済規模、民族構  
成、政治体制、宗教も全く  
違って異質な、きわめて多  
様な国々で構成されている  
ということ。

このASEANのある東  
南アジアは、第2次大戦後、  
植民地からの独立後も、東  
西対決の下で戦争が続きま  
した。ベトナム戦争終結以  
来、和解と協力がすすみ、  
国と国との大きな戦争はあ  
りません。

**多様なASEANがなぜ1  
つになれるのか**

こうした異質な国がなぜ  
一つになれるのか、緊張が

あっても、なぜ熱い混乱が  
沸騰しないのでしょうか。  
**ASEAN設立宣言**

その答えの一つを、AS  
EAN設立宣言に見ること  
ができます。宣言前文の一  
般原則には、平和と繁栄に  
は善隣・協力が必要、外部  
からの干渉を排除する決  
意、外国軍基地は一時的な  
もの、趣旨に賛同するすべ  
の国に解放、とあります。  
**徹底した話し合い**

第2に、徹底した話し合  
い、その例として、政治問  
題の合意形成に、外相会議  
の「定例化」と同時に「非  
公式会議」を開催という、  
非公式外相会議との使い分  
けをしていることがありま  
す。そして異論は棚上げす  
るといふコンセンサス方式  
をとっています。

**ASEANを軸に重層的な  
対話の枠組みづくり**

さらにASEANが、A  
SEAN以外の国々に、A  
SEANを軸として域外パ  
ートナーとの関係・協力を  
すすめることをうたって東  
南アジア友好協力条約(T  
AC)の締結をすすめてい  
ます。このASEANの重  
層的な地域協力の枠組み  
は、現在42カ国と地域に広  
がっています。

この枠組みのもと、東ア  
ジア首脳会議(EAS・別名

東アジアサミット)がAS  
EAN10カ国に日中韓、ア  
メリカ、オーストラリア、  
ニュージーランド、ロシア、  
インドの18カ国で構成さ  
れ、毎年ASEANを議長  
国に開催されています。

**平和を骨抜きにするアメ  
リカの政策と追従する日本**

さてこういうASEAN  
を軸にして平和を追求する  
動きに対し、アメリカの政  
策は平和を骨抜きにする方  
向です。

その中に、日本を対中「衛  
兵」国家にするアメリカの  
アジア戦略があります。台  
頭する中国を軍事的、経済  
的に抑えこむ包囲戦略で2  
010年代から本格化して  
います。トランプ政権の「イ  
ンド太平洋戦略的枠組み」  
をバイデン政権も追認・公  
表し、中国を囲む前線諸国  
に軍事同盟を強化して「衛  
兵」国家にするもので、第  
一列島線にある日本を前線  
基地化し、QUAD(米日豪  
印)の政治・軍事同盟化をめ  
ざしています。

**2つの「インド太平洋構  
想」**

この流れで、安倍政権か  
ら始まった日本の「インド  
太平洋構想」は、米戦略を  
補完するものです。

ところでASEANが2  
019年6月に採択した  
「インド・太平洋構想」が

あります。この中身は、地  
域で強まる米中の覇権争い  
を念頭に、特定の国の「優  
位」を許さず、アジア諸国  
が自主的に平和の秩序をつ  
くる構想です。掲げられて  
いる原則は、①対抗でなく  
対話と協力の地域にする、  
②どの国も排除しない包括  
的な多国間協力の枠組みに  
する、③ASEANが中心  
となって秩序作りを主導す  
る、④主権の尊重と紛争の  
話し合い解決を決めた東南  
アジア友好協力条約を指針  
にする、というものです。

まさに、日米などが打ち  
出している「インド・太平  
洋構想」とは真逆のもの、  
ASEANの優位性は明ら  
かです。

**日本AALAとASEAN  
「戦争するな、どの国も」**

日本AALAとASEAN  
とは、2014年のAS  
EAN訪問団がインドネシ  
アのASEAN本部とミヤ  
ンマーを訪問したことから  
発展しています。

2015年5月に、「東ア  
ジア平和共同体をめざし  
て」日本AALA創立・バ  
ンドン会議60周年国際シン  
ポジウムを開催。ここで「戦  
争するな、どの国も」国際  
署名を提起し、以後、毎年  
署名提出のASEAN訪問  
団活動となっています。

# 基地のない沖縄に向けて 自分でできる運動を続けていきたい

## 沖縄県知事選挙現地支援報告 大阪府保険医協会 事務局 高田多一



高田 多一さん

9月5日(月)〜6日(火)に沖縄県知事選挙の現地支援に参加しました。

行動初日の情勢解説の中では9月5日の沖縄タイムスの世論調査が紹介され、「オール沖縄」勢力が押す玉城デニー氏：先行”、”自民・公明などが推す佐喜真淳氏：追う”、”前衆院議員の地下幹郎氏：厳しい”との情勢報道が出ていました。また、調査では基地問題の賛否は4年前と比較して、反対が増えている(50%↓56%)、特に18〜29歳の部分での伸びが大きいとの結果も示されました。

2日間の行動の中で、何人かの住民の方との対話場面がありました。が、一様に「頑張つて」との声かけをいただけました。別の支援者からはマンションでのポスティングの際に管理人から「何をしているのか」と言われ、デニーさんのビラ

を見せると「それならいいよ。頑張つてね。」との声かけがあったというエピソードも聞きました。

9月11日に投票票を迎えた沖縄県知事選挙では約3万票の差をつけて玉城デニーさんが再選しました。

しかし、その翌日の会見の中で松野官房長官は辺野古移設が普天間飛行場の危険性除去の「唯一の解決策」との認識を示し、移設推進の政府方針を改めて強調するなど、政府として選挙で示された民意を無視する態度を改めて見せました。

先ほど触れた世論調査では「国が沖縄の意見をどの程度聞いているか」との質問に約7割が「あまり・全く」聞いていない」と回答しています。沖縄での戦いは日本の民主主義を守り発展させるといふ側面もあります。



出勤時間帯に行われていた県庁前での歌声街宣

基地のない、平和な沖縄の実現に向けて、遠く離れた大阪からではありますが、今後自分でもできる運動を続けていきたいと思えます。

## 「加害の歴史を考える戦争パネル展」開催

大阪府保険医協会反核平和委員会では、9月18日〜19日にかけてエル大阪で「加害の歴史を考える戦争パネル展」を開催しました。

大阪AALA様はじめ、府下の民主団体の皆様に宣伝にご協力をいただき、台風接近による悪天候や交通機関の乱れもある中、2日間で60人の方にご来場いただきました。

参加者の感想では「加害の側面に焦点を当てた企画は珍しく、非常に良かった」「ロシアのウクライナ侵攻が目の前にある中で色々考えさせられる内容だった」などの感想が寄せられました。

同パネル展では戦時中、「国体護持」「本土決戦」のために捨て石にされた沖縄に関する展示もありました。そのパネルが示すことは「軍隊は必ずしも国民を守る存在ではない」ということではないかと個人的には思います。そうしたものから軍事力の増強による防衛などではなく、対話による平和な環境の構築というものが追求されるべきではないかと考えます。

### 731部隊

日本陸軍は中国東北地方の平房(へいぼう)に731部隊を設置し、人体実験・細菌散布実験を繰り返して細菌兵器を開発。その兵器で国際法違反の細菌戦を展開し、中国人民に多大な被害を与えた。戦後、731部隊員は米国に実験データを渡し、全員が免責され、医学界に復帰した。

### 平頂山事件

満州事変の1年後、撫順炭鉱を抗日ゲリラが襲い、数人の犠牲者が出た。守備に失敗した日本軍は報復に平頂山地区の住民3000人を崖下の平地に追い立て、一斉機銃掃射を浴びせかけ、その遺体はガソリンがかけられて燃やされたうえ、ダイナマイトで崖を爆破して、土砂によって完全に隠蔽した。

### 毒ガス兵器

第2次世界大戦当時、毒ガス兵器の使用は国際法で禁止されていたにもかかわらず、日本軍は毒ガス兵器を大量に製造し、おもに中国戦線で使用した。敗戦時には70万発といわれる毒ガス弾が中国各地に廃棄され、今も人々に被害を与えている。

### 沖縄戦

戦時中は「国体護持」「本土決戦」のために捨て石にされた沖縄。マラリアの有病地への強制移住や軍の命令があったとも言われる「集団自決」などで多くの被害者が出た。さらには現在も米軍施設が多く残されている。今回は沖縄戦の実相を当時の新聞記事を元に戻す。

### 登戸研究所

登戸研究所は、1939年に設立された陸軍の研究で、本格的に生物兵器や風船爆弾、偽札などの研究開発をしたとされる。敗戦に伴って解散したが、その際、研究所に関する資料は焼却されるなどし、徹底的に破壊された。

### 戦後補償-ドイツと日本の違い-

終戦から80年近く経とうとしている。日本の歴史認識や賠償問題はアジアの周辺国から問われ続け、未だに解決の糸口が見えない。一方で、ドイツはかつて侵略した周辺国との関係改善を果たしたとされる。両国の戦後補償の歩みを比較する。



**戦災で折れた鳥居の柱**  
 今回の戦跡めぐりにあたって森田敏彦さんは、「旧真田山陸軍墓地と三光神社の被爆鳥居を見学します。真田山陸軍墓地は、大阪市内にあって帝国日本の戦争にかかわる軍事施設として、軍隊と戦争の実態を視覚で確かめることのできる貴重な場所です。5000基以上の兵士などの墓石が列をなして並び、そこに刻まれた文言から様々な情報を伝えることができます。日本の進路にとって戦争

10月8日(日)午後、大阪AALAは、「玉造周辺の戦跡めぐりと平和学習」三光神社、旧真田山陸軍墓地など巡りを行いました。案内は元大阪府立高校の教師で「大阪の戦争モノ語り」「兵士の碑(いしぶみ)」の出版もされている森田敏彦さんをお願いしました。参加者は10名でした。戦跡めぐりのあと、AALA事務所意見交換しました。  
 編集部責任で、平和学習の抜粋版を報告します。  
**戦争か平和かの重大な岐路 近代日本の戦争について考 え9条改憲阻止の糧に**



写真① 平和学習出発前の森田さん (AALA事務所)

**玉造周辺の戦跡めぐりと平和学習**  
 ～三光神社、旧真田山陸軍墓地など巡り～  
 案内人 天王寺九条の会代表世話人 森田敏彦



写真③ 真田幸村像

**真田幸村像と真田の抜け穴**  
 石段を上がって社殿の前を進むと、そびえたつような真田幸村の像とその横に「真田の抜け穴」口があります。



写真② 戦火で折れた鳥居の片柱

か平和かの重大な岐路を迎えているこの時期に、近代日本の戦争について考え、9条改憲を阻止する糧にしたいものです」との案内の趣旨のもと、大阪AALA事務所を出発しました。  
**戦火で折れた鳥居の柱**  
 出発後、玉造通を渡って、日本共産党大阪府委員会事務所の前を少し南下した鳥居の前でした。  
 立派な石鳥居のすぐ前に、「国家安泰平和祈願」と掘った旧石鳥居の片柱の下方部分と基礎がありました。1945(昭和20)年6月の空襲の記録をとどめるため三光神社奉賛会として残しているとのことでした。

三光神社は、昔は姫山神社(大昔の姫の松原の遺称)と称したそうですが、三光神社の名の由来は、中風封じとして有名な現在の宮城県仙台市の三光宮(現・青麻神社)を勧請し、1908年に社名を三光神社としたとのこと、日本全国で唯一の中風除の神として広く知られています。  
**旧真田山陸軍墓地**  
 三光神社を通り抜けて、小さな坂を西に進むと、そこはもう景色が一転しました。整然とならぶ柱状の墓石が見渡す限り並んでいます。



写真⑥ Eゾーンを南西角から見る



写真⑤ Bゾーンの北側通路沿い

**ゾーン区分でわかる歴史**  
 森田敏彦さんは、参加者に配布のパンフ「旧真田山陸軍墓地(NPO法人旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会発行)」に記載されている、墓地の「ゾーン」分けを説明しながら、最初に「Bゾーン」から時計回りに、1か所ごとに丁寧に説明をしました。  
**「Bゾーン」西南戦争での戦死・病死者の墓碑など**  
 最も多いのは西南戦争(1877)に関わる兵卒・



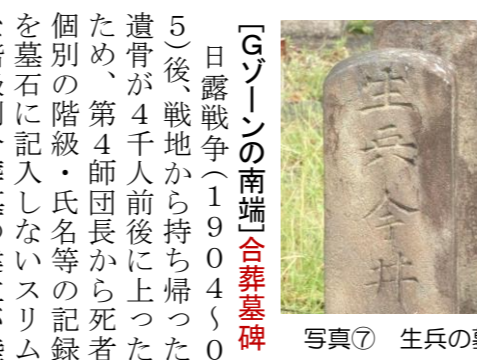
写真④ 陸軍省所轄地の標柱

巡査・従卒・軍役夫等の墓碑です。碑文に見える出身地は全国に及んでいます。大阪に征討陸軍事務所が置かれ、大規模な陸軍臨時病院が建設されたことに関わっています。  
**「Fゾーン」陸軍草創期以来の平時死者と日清・日露の個人墓碑**  
 年号でなく庚午・辛未・壬申等といった干支表記の墓碑が集中しています。それぞれ明治3年、4年、5年を示します。全ての墓碑の上部が丸くなっているだけでなく幅広なので判別しやすくはなっていません。  
**生兵** 徴兵された兵卒は現役3年のうち6カ月間は訓練期間とされ、生兵(せいへい)と呼ばれました。この制度は1888(明治21)年に廃止され、入営即二等卒となりました。



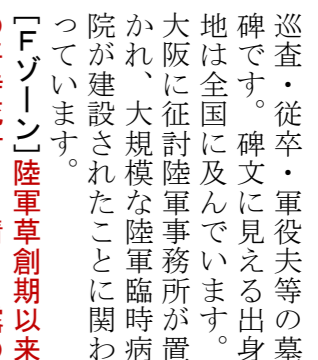
「空襲で破壊された墓碑を集めた前」で、参加者と案内の森田さんと

**「Gゾーン」の南端「合葬墓碑」**  
 日露戦争(1904〜05)後、戦地から持ち帰った遺骨が4千人前後に上ったため、第4師団長から死者個別の階級・氏名等の記録を墓石に記入しないスリムな階級別合葬墓の建立が陸軍省に申請され認められました。これ以降、外地での戦死者の個人墓碑は建てられないのが原則となりました。  
**日露戦争の合葬墓** 1906(明治39)年建立。東から西へ「兵卒」「下士」「准士官」「将校同相当官」の4基が並んでいます。写真では見づらいますが、階級が上位ほど石碑も大きいのです。  
**生前の階級差が死後にも**  
 以前、案内人なしでこの旧真田山陸軍墓地をグルグルで回った時には、整然とならんだ細長い墓碑群が、一般の墓地にないたくさんの軍人が亡くなった戦争遺跡的な印象でしたが、「ゾーン」毎の相違が明治維新以後の戦争で、まだまだ人間臭さが残っている時代から、次第に消耗品として扱われた時代、そしてその中でも、生前の階級の違いが死後の扱いでも引き継がれる不条理が心に残る平和学習でした。



写真⑦ 生兵の墓碑

**「Aゾーン」軍役夫の墓碑、外国人俘虜の墓碑も**  
 日清戦争(1894〜95)とそれに続く台湾征討のため派兵中、軍の仕事に請負った軍役夫等民間人の墓碑も並んでいます。  
**第一次世界大戦(1914〜18)**では日本は約4700名のドイツ兵を日本各地の俘虜収容所に送っています。収容中の死者は87人、うち2人が大阪衛戍病院で死亡し、この墓地に埋葬されました。



写真⑧ 日露戦争の合葬墓



写真⑨ ドイツ軍俘虜

ジェンダー問題オンライン学習会から  
**「私たちのセクシュアリティと自由」**  
 ジェンダー平等にむけた取り組みと課題

10月2日(日)の午後、日本AALAの学術研究部主催のZOOMによるジェンダー問題学習会が行われ、視聴参加しました。

講演は2題で、①欧米・日本でのジェンダー平等にむけた取り組みと課題、講師は有松沙綾香さん(ジェンダー・ダイバーシティ専門家)、②東南アジアでの戦争犯罪 日本軍従軍「慰安婦」、講師は澤田季江さん(新日本婦人の会京都府本部副会長)でした。

このうち、①の講師の有松沙綾香さん自身の講演タイトルは「私たちのセクシュアリティと自由」で、ジェンダー問題での私自身の視野の狭さと日本の後進性を改めて痛感させられたものでした。

そこで有松さんの講演から講師レジュメを抜粋して紹介するとともに、旧統一教会との政策協定を結んだ自民党のジェンダー問題全否定の政策も念頭に、共に考える一助になればと思っています。

**[資料1] Sex, Gender, Sexuality**

- 性別：セックス、ジェンダー
  - ・セックス(Sex)＝生物学的な性別
  - ・ジェンダー(Gender)＝社会的・文化的に作られる性別、男らしさと女らしさ
- セクシュアリティ(Sexuality)＝性的な欲望・行動のあり方、性的指向
  - ・LGBTQ+＝多様な性的指向  
 Lesbian, Gay, Bisexual, Transgender, Questioning, +

「セクシュアリティ」とは何か

セックス、ジェンダーとどう違うのか、私たちの日常にどう影響しているのかについて例をあげて説明された。(資料1)

まずセクシュアリティと似ているものに、セックスとジェンダーがある。

セックス(Sex)は、生物学的な性別で、特に生まれた時の身体的特徴、性器の特徴によって与えられた性別だが、日本にはあまりなじ

みがないがインターセックスという身体的特徴が一般的に定められた男性女性の中間、もしくはどちらとも一致しない性別というものも存在している。

ジェンダー(Gender)は、最近日本でもようやく聞かれるようになってきた言葉で、社会的・文化的に作られる性別のことで、文化や国によって異なってくることになる。そして、ジェンダーには、男らしさと女らしさというものを与えられていて、人それぞれによって違うのに社会によって押し付けられている。

次のセクシュアリティ(Sexuality)は、性的な欲望・行動のあり方、性的指向のこと。

しかし、セクシュアリティにはいろいろな種類があって、それがLGBTQ+(プラス)になる。日本のメディアはまだ知識が浸透していなくてLGBTQという表現をするが、厳密にいうと正しいとは言えなくて、より適当なのは「LGBTQ+」「LGBTQ I+」という。

Lはレスビアン Lesbian、女性を恋愛対象として好きになる女性。Gはゲイ Gayで男性を恋愛対象として好



ニューヨーク公共図書館正面に掲げられたプライド・フラッグ

きになる男性。Bはバイセクシュアル Bisexualで男性と女性の両方の性を好きになる。Tはトランスジェンダー Transgender で生まれた時の性器の特徴によって割り当てられた性別、先ほどのセックスにあたるが、セックスと自分の認識する性が異なっていること。Qが、また自分がどれにあてはまるかわからない人だとか、あえて決めていない人のこと。+は、どれも表現しきれない人、もっと多様な性をもっている人のことで、+にはいろいろなセクシュアリティがあるって、例えば性的なものに全く関係のない、興味のない人たちもいる、こういう人たちをAセクシュアルというが、男性ならみんな性欲があるとかがいう発想を持って発言してしまうのは、差別になる可能性が結構高い。

プライド・フラッグ(Pride Flags)、レインボウ・フラッグ(Rainbow Flags)

日本ではあまりみかけることがなくて残念だが、ニューヨークでの写真で、公共図書館などにも掲げられている。レインボウは日本では7色だが、実は6色になっている。もともと7色

だったが、50年ほどまえの印刷技術ではピンクの印刷が大変ということからピンクが削られて、定着している。それぞれの色に意味があるが次の機会とする。

プライド・フラッグは、当事者たちが、社会から差別されてきたけれども、自分たちが自分らしくあるためにたたかう意志や自分であることの誇りを示すシンボルであって、LGBTQ I+への支持を示すものとして使われている。ニューヨークの公共図書館などやあちこちにみられる。

次ページのフラッグは最近主流になりつつあるもので、左三角の黒色と茶色で人種を含んだフラッグである。インターセクショナルリティ intersexuality という日本語だと交差性、複合性といって、性別や人

※7ページ目につづく



※6ページ最下段からつづく

[資料2] セクシュアリティと家父長制

○リプロダクティブ・ライツ

産む産まない、いつ・何人子どもを持つか、いつ・誰とセックスするかを決める権利など、性と生殖に関するあらゆる権利。

・セクシュアリティとジェンダーの規範

「家庭を持って男は一人前」「女は子どもを産んで一人前」「女性はみんな子どもが好き、母性がある」

・家父長制

女性は男性の所有物として、男性に従属するものとして配置することで、男女のセクシュアリティを支配・管理するもの。国家の戦力となる再生産能力を管理したいという考え。

うことが、社会学では主流になりつつあるので、プライド・フラッグにもこの視点が導入されている。  
**セクシュアリティと家父長制**  
リプロダクティブ・ライツ  
セクシュアリティの大前提となるものに、リプロダクティブ・ライツがある。これは女性が所有すべき基本的な権利の一つであって、

種などいろいろなアイデンティティや属性が重なることにより異なる苦しみがあるとい

力であるのが子どもでもであるので、国家の資源となる再生産能力に執着してしまいう。そういう意味では家事や育児も含む。そのほかに女性も自由に性的関係を持つことを否定したり、レイプされた女性側を非難したり、自民党議員の発言にみられるような同性愛者は生産的でないとは否定するのは、国家が再生産能力をコントロールできなくなってしまううし、家父長制の養護・提唱者たちは、再生産能力を支えるための伝統的家族のあり方を重視しているからである。伝統的家族というものは男女とその子どもでなりたつ家族のことだが、これが崩壊されては困る、守りたいという考えも

セクシュアリティとジェンダーの規範  
しかし私たちの社会には、男らしさとか女らしさといったジェンダー規範があつて、その多くがセクシュアリティと密接に関連している。  
**家父長制**  
リプロダクティブ・ライツがあるのに、なぜ、ジェンダー規範にしばられておしつけられるのか。セクシュアリティをコントロールしようとする存在があつて、その背景に家父長制がある。(資料2)。  
国家の資源となる再生産能力を管理したいという考えでもあり、再生産能力というものは、戦時中では敵国とたたかうための兵力であつたり、資本主義経済においてはグローバル化のなかで国家が生き残っていくための労働力であつたりする。将来の国家のための兵力と労働

セクシュアリティに関する自己決定権のこと。今から28年前の1994年に国連の世界人口開発会議で初めて提唱され、翌年の95年、北京国連世界女性会議で女性の基本的な権利として認められた(資料2を参照)。性と生殖に関するあらゆる権利。  
**セクシュアリティとジェンダーの規範**  
しかし私たちの社会には、男らしさとか女らしさといったジェンダー規範があつて、その多くがセクシュアリティと密接に関連している。

[資料3] 例えば

～家父長制のセクシュアリティ支配・管理～

・「同性婚」の合法化

世論調査では約6割が賛成。自民党議員による「伝統的な家族像の崩壊」「生産性がない」発言、同性婚合法化32カ国、G7の内、同性婚合法化していないのは日本のみ。

・「婚外子」制度

「婚外子」支援の欠如。フランスの「PACS」。

・緊急避妊薬

医師の処方箋が必要。米国、英国、フランス、ドイツなどの先進国を含む世界の90カ国以上では医師の処方箋なしで購入可能。

・性交同意年齢

日本13歳、英国・カナダ・韓国・台湾16歳、アメリカ16-18歳、フランス15歳、フィリピン16歳、韓国は2020年5月に13歳から16歳へ引き上げ。

・強姦罪の成立

日本は同意だけでなく、脅迫や暴行など抵抗できなかった理由が必要。米国・英国・ドイツなどでは同意なければ強姦罪。

・中絶の配偶者同意

中絶に配偶者の同意が必要なのは、日本を含めて世界で11カ国・地域のみ。

・セックスワーク

日本では違法。ヨーロッパの一部では合法、つまり、セックスワークは「仕事」「労働」であり、セックスワーカーにも「労働者の権利」が認められている。

・「慰安婦」と戦時性暴力

日本では「慰安婦」、海外では「性奴隷(Sexual Slaves)」。 「慰安婦」制度を構築・正当化する戦争戦略は、①国家及び男性の財産(女性)を奪う、②民族・種族の「浄化」、③兵士の士気を高める、④戦力を保つ等々。

	1980年	2008年
スウェーデン	39.7	54.7
フランス	11.4	52.6
デンマーク	33.2	46.2
英国	11.5	43.7
オランダ	4.1	41.2
アメリカ	18.4	40.6
アイルランド	5.9	32.7
ドイツ	15.1	32.1
スペイン	3.9	31.7
カナダ	12.8	27.3
イタリア	4.3	17.7
日本	0.8	2.1

存在している。  
**家父長制のセクシュアリティ支配・管理の例から**  
日本の家父長制のセクシュアリティ支配・管理の例を紹介するが、比較するとよくわかる。(資料3参照)  
「同性婚」の合法化では、G7では日本のみが合法化していない。  
「婚外子」制度では、日本が極端に低い。フランスが大きく伸びているがPACSという1999年制定の「性別に関係なく、青年に達した2人の個人の間で、安定した持続的共同生活を営むために交わされる契約」成立がある。  
緊急避妊薬、性交同意年齢、強姦罪の成立、中絶の配偶者同意、セックスワー

「同性婚」の合法化では、G7では日本のみが合法化していない。  
「婚外子」制度では、日本が極端に低い。フランスが大きく伸びているがPACSという1999年制定の「性別に関係なく、青年に達した2人の個人の間で、安定した持続的共同生活を営むために交わされる契約」成立がある。  
緊急避妊薬、性交同意年齢、強姦罪の成立、中絶の配偶者同意、セックスワー

ク、「慰安婦」と戦時性暴力は資料3を参照。  
自分らしく生きられる社会  
最後に、講師は、日常の至るところにセクシュアリティの支配だけでなく、ジェンダーに関する差別や偏見があふれている、と強調された。人種や宗教、性別が違うだけで差別され、暴力を受けるといふことは絶対に許されない。無知や無関心も差別だと思つている。差別や偏見、暴力から解放されて、いろいろな個性を持った人たちが、自由な選択をできる社会を構築できるように、先は長い、と締めくくられた。  
(浜辺記)

**第8次国際署名達成を**  
10月11日(火) 第4回常任理事会

大阪AALA第4回常任理事会が、10月11日(火)18時から大阪AALA事務所で開催されました。

会議の内容のうち、今後の取り組み部分を中心に報告します。

**(1) 第8次国際署名**

大阪AALAの目標は個人署名3000筆、団体署名100筆。9月末現在で個人署名約2000筆余り、団体署名20筆であり、目標を達成して、カンボジアに提出していくことを再確認した。

**(2) 会員と読者ふやし**

4月以降の新会員5人、しかし4月以降の退会員6人で、今年度の会員増やしの目標30達成に向けて奮闘する。

**(3) 会計からの報告**

「組織強化募金」の訴えを11月号とともに発送・願います。

**(4) 諸行事から**

①日本AALA全国学習交流集会在愛知(11月13・14日)参加。

②カンボジア署名提出ツアー(11月29日〜12月4日)に大阪AALAから参加者4名の予定。

③「おおさかAALAカフェ」第30回記念講演学習会(10月23日)のオンライン開催の成功を。

**(5) 次回会議**

第3回理事会11月16日(水)午後6時から大阪AALA事務所で行う。

**オンライン日本AALA理事会**  
10月20日(木)の午後行われる

10月20日(木)の午後、日本AALA第55期第2回理事会がオンラインで開催され、大阪AALA選出の理事も参加しました。

提案に先立って、情勢について国際部から特別報告が行われたほか、主な報告・議題は次の諸点でした。

**(1) 昨年の定期大会(11月6日)**

以降の経過報告では、ロシア大使館前での抗議行動やウクライナ支援行動が大きな特徴であった。

またASEANプロジェクトチームを発足させ、「戦争するな、どの国もリーフ」を発行した。

**(2) 組織部からは2回の「会員増やし・財政強化期間」を設定し取り組み、1期目には86名、今期は55人の読者含む会員拡大した。**

**(3) 第8次国際署名の取り組み強化とカンボジア署名提出ツアー(11月29日〜12月4日)。**

**(4) 『知りたかったアセアン』に続く新しい本を来年5〜6月ごろ発行する。**

**(5) 「日本AALA全国学習交流集会in愛知」(11月13・14日)の成功めざす。**

**(6) 第56回定期総会を2023年9月30日(土)〜10月1日(日)東京で開催との予定が示された。**

オンライン討議では、大阪AALAからも第8次国際署名の取り組み強化と会員拡大で発言しました。

**AALAカフェ第31回**

●テーマ **「ウクライナの歴史と文化、そして無法の侵略をうける今！」**


●お話・小野元裕さん  
(ウクライナ文化交流協会・会長)

◇とき **1月15日(日) 13:30~15:30(予定)**

◇会場 **※大阪平和委員会事務所**  
(「谷町6丁目駅」下車すぐ) 〒542-0012  
大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三ビル210号  
Tel. 06-6765-2840

※当日、ウクライナ難民の方も数名が参加されますので、会場を大阪AALA事務所では手狭ですので、変更しています。

◇参加費：**500円**(コーヒー、菓子、資料代)  
\*マスク着用をお願いします  
\*参加は大阪AALAまで事前連絡を



**川柳**

Jアラート危機感煽りほくそ笑み  
長男を秘書官にする脳天気  
初めての出版本が上梓する

大阪市旭区 近藤 正  
大國ほど領土益々欲深く  
大東亜言真似るブーチン先が無い  
無言館魂描き雄弁に

大阪府四條畷市 西川 寛


**大阪AALA へのお願い**

会費 月800円(年9,600円) (25才以下は年3,000円) ※入会金 500円

\*会費の会計年度は毎年4月から翌年の3月です。半期毎に4,800円づつご入金をお願いします。

\*会費の中には機関紙代も含まれています。月初めに大阪AALAと日本AALAの機関紙を郵送いたします



<b>発行</b>	<p><b>大阪アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会 (大阪AALA)</b></p> <p><b>Osaka Asia Africa Latin America Solidarity Committee</b></p> <p>〒540-0004 大阪市中央区玉造1-6-11 黒石ビル3F</p> <p>TEL 06-6768-5360 FAX 06-6768-5361</p> <p>E-mail: osakaaala@nifty.com HP: http://osakaaala.la.cocan.jp/</p>	<p>機関紙・宣伝委員会</p> 
-----------	--	--